

## 平成19年8月期 月次売上速報

- 数値はPOSデータに基づいた速報値であり、決算数値とは異なります。
- ソフマップを除く当社小売グループのPOSデータ、及び、インターネット通販の売上データを集計しております。  
(当社小売グループ:ビックカメラ、ビック・スポーツ、ビック・トイズ、ビック酒販、生毛工房)
- 数値には携帯電話加入申込手数料、インターネット取次手数料等の手数料売上は含まれておりません。

### 1. 売上高の状況(全店前年比)

(単位:%)

	平成18年				平成19年		上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	累計
	9月	10月	11月	12月	1月	2月									
売上高	100.2	102.3	100.2	100.3			100.7								100.7

### 2. 品目別売上高の状況(全店前年比)

(単位:%)

	平成18年				平成19年		上期計	3月	4月	5月	6月	7月	8月	下期計	累計
	9月	10月	11月	12月	1月	2月									
音響映像商品	92.0	104.8	99.3	96.9			97.9								97.9
家庭電化商品	107.1	108.7	105.3	102.1			105.3								105.3
情報通信機器商品	99.6	95.8	91.0	91.8			94.2								94.2
その他の商品	110.7	113.0	124.9	123.8			119.3								119.3

### 3. 概況

12月度は、全店前年比100.3%となりました。前年との曜日・休日比較では、昨年は金曜日であった天皇誕生日が土曜日と重なったことにより、年末商戦のピークが1日少なく2%程度のマイナス影響がありました。また、前年との天候比較では、昨年は概ね良好でしたが、今年は週末及び月末に天候が崩れ、苦戦しました。

音響映像商品は、地上波デジタル放送のエリア拡大を受けた薄型テレビが価格下落を台数でカバーして好調に推移したものの、DVDレコーダー、ポータブルオーディオが苦戦し、96.9%となりました。家庭電化商品は高付加価値化が進む洗濯機、調理家電が引き続き好調に推移し、暖冬の影響から暖房器具が苦戦したものの102.1%となりました。情報通信機器商品はWindowsの新OS Vistaの発売を目前に控えてPC本体・周辺機器が引き続き苦戦し、91.8%となりました。その他の商品は、11月のソニープレイステーション3に続く新型ゲーム機任天堂Wiiが発売されたゲーム、フィットネス関連の市場が活性化したスポーツ用品が良好な推移をみせ、クリスマス商品である時計、スパークリングワイン、玩具が堅調に推移し123.8%となりました。

#### 第1四半期(9～11月)の概況

音響映像商品は、薄型テレビが好調に推移したものの、DVDレコーダー、ポータブルオーディオ、DVDソフトが苦戦し、98.5%(第1四半期)となりました。家庭電化商品は、11月に暖冬の影響を受けてエアコン、加湿器が苦戦しましたが、高付加価値化が進む洗濯機、調理家電が好調に推移し106.9%(同)となりました。情報通信機器商品は、PC本体・周辺機器等のPC関連商品が苦戦し、デジタル一眼レフカメラ、10月24日のナンバーポータビリティ開始により携帯電話が好調に推移したものの95.4%(同)となりました。その他の商品は、携帯ゲーム機の任天堂DSに加え、11月11日に発売された新型家庭用ゲーム機ソニープレイステーション3、付随するゲームソフト、アクセサリが好調に推移し、スポーツ用品、玩具等も堅調に推移したことから116.2%(同)となりました。この結果から第1四半期全店前年比は100.9%となりました。